

# 「すてき」を見つけて紹介しよう

## — 教材文：「お手紙」（東京書籍 二上） —

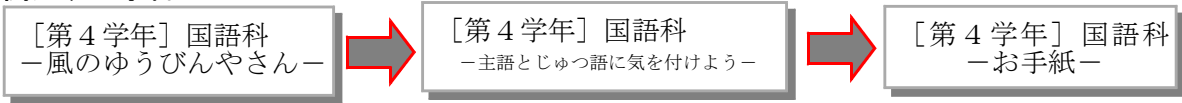
2年 国語科 7月 24Q 〈8時間〉  
 附属新潟小学校 教諭 里村 種

**1 本単元で目指す姿**  
**言葉と言葉とを関係付けて読み、かえるくんの人物像をとらえる子ども**  
 具体的には、言葉の働きに着目するという「見方・考え方」を働かせ、登場人物の言動を表す言葉を基に、登場人物の行動の理由を想像する力（②思考力・判断力・表現力）等の資質・能力を発揮して、登場人物に関わる複数の言葉を根拠として人物像を表現している姿。  
 <「お話のとびら」の「③一番『すてき』な人物紹介カード」の記述例>  
 一番すてきなとうじょうじんぶつは、かえるくんです。かえるくんは、なかよしパワーがいっぱいの人なんです。ともだちのがまくんをしばいて「どうしたんだい」と声をかけたり、ともだちのがまくんのためにいっしょうけんめいがんばって「大いそぎ」で家に帰ってがまくんに手紙を書いたりします。

**2 本単元で育成する資質・能力（評価基準）**

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度
国語科	○文の中における主語と述語との関係に関する知識・技能	○登場人物の言動を表す言葉を基に、登場人物の行動の理由を想像する力 ○文章の中の重要な言葉や文を選び出す力	○目的に応じて読書しようとする態度

**3 関連する学習**



**4 単元の計画**

	【学習活動】☆資質・能力	【働き掛け】	Q
国語科 (次)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 言語活動に対する意欲を高める。 ・「お手紙」のお話を1年生に紹介しよう。</li> <li>・「お話のとびら」というものをつくるんだな。</li> <li>○ 物語の内容の大体をとらえ、「お話のとびら」の「①登場人物カード」「②出来事カード」を記述する。</li> <li>○ 3人の登場人物から1人を選択し、「お話のとびら」の「③一番『すてき』な人物紹介カード」をつくるための下書きを記述する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 『お話のとびら』をつくり、『お手紙』を1年生に紹介するという言語活動と、言語活動に対応した成果物「お話のとびら」の基版とを提示する。</li> <li>※ 提示後、教材文と出合わせ、文章を読み聞かせたり音読させたりする。</li> <li>◆ 登場人物と出来事とを問う。</li> <li>※ 「お話のとびら」の「①登場人物カード」「②出来事カード」を配付する。</li> <li>◆ どの登場人物が一番『すてき』だと思ったか、どうしてそう思ったか、どの言葉からそう思ったかを問う。</li> <li>※ ワークシートを配付する。</li> </ul>	9Q 3時間
国語科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一番「すてき」な登場人物としてかえるくんが選ばれた根拠となる言葉を知り、言葉の働きに着目した問いをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 根拠となる言葉を複数例示し、感じた疑問とその理由とを問う。【働き掛け1】</li> <li>※ 登場人物（がまくん・かえるくん・かたつむりくん）の絵を掲示する。</li> <li>※ まず直接的な表現の言葉を示し、次に間接的な表現の言葉を示す。</li> <li>※ 子どもの発言をまとめ、学習課題として板書する。</li> </ul>	6Q 2時間

【学習課題】  
どの言葉がかえるくんの『すてき』が分かる言葉なのか。

- 課題解決の見通しをもつ。  
★国語科③
  - ・かえるくんのしたことや言ったことにヒントがありそうだな。
  - ・「ぼくがきみにお手紙出したんだもの」から、かえるくんのやさしい気持ちが分かります。
  - ・かえるくんの言ったことやしたこと言葉に、かえるくんの「すてき」が隠れていると思うので、教科書を読み直したいです。
- 文章の文脈に即して言葉を吟味し、かえるくんの人物像が分かる複数の言葉を判断する。  
★国語科①②
  - ・かえるくんが言った「もう家へ帰らなくっちゃ」は、どうかな。
  - ・そうだよね。その言葉から、がまくんに分からないように手紙を書こうとするかえるくんの友達思いの気持ちが分かると思うな。

★協働性、ツール活用能力

○ **ぼくは、かえるくんの友達思いな「すてき」を紹介しようと思います。そのために、「もう家へ帰らなくっちゃ」と「お願いだけど」という言葉が必要だと思います。**  
★国語科②

- 必要だと判断した言葉を用いて、かえるくんの人物像を表現する。

○ **一番すてきなとうじょうじんぶつはかえるくんです。かえるくんは、なかよしパワーがいっぱいの人なんです。ともだちのがまくんをしばいして「どうしたんだい」と声をかけたり、ともだちのがまくんのためにいっしょけんめいがんばって「大いそぎ」で家に帰ってがまくんに手紙を書いたりします。**

- 学習を振り返り、発揮した資質・能力を自覚する。
  - ・かえるくんの「すてき」を紹介するためには、かえるくんの言った言葉やした言葉を見付けるとよいことが分かりました。(①知識・技能)
  - ・かえるくんの言った言葉やした言葉から、どんなことが分かるのかを考えることができました。(②思考力・判断力・表現力)
  - ・かえるくんの「すてき」が分かる言葉を見付けるために、「お手紙」を読むことができました。(③態度)

◆ **例示した言葉を分類掲示して分かることを問うた後に、何が分かるか、分かるためにどうするかを問う。**  
【働き掛け2】

- ※ 例示した言葉を、会話文の言葉と、地の文の言葉とで分類して提示する。
- ※ 子どもの発言を受け、分類した言葉をラベリングしたり、分かることをその言葉の付近に書いたりする。
- ※ 子どもの発言を、整理して板書する
- ※ 必要に応じ、子どもの発言内容の理由を問い返す。

◆ **少人数グループで話し合う場を設定し話し合う観点を提示した後、かえるくんの『すてき』を紹介するために必要な言葉を問う。**  
【働き掛け3】

- ※ 話し合いの観点を提示する。
  - ①かえるくんの『すてき』が分かる言葉はどの言葉か
  - ②その言葉から分かることは何か
- ※ 班に「Iチャート」を配付する。
- ※ 子どもの発言を、整理して板書する。
- ※ その言葉について、同じように考えていたかを全体で確認する。

◆ **「一番『すてき』な人物紹介カード」を書く場面を設定する。**  
【働き掛け4】

- ※ 「お話のとびら」の「③一番『すてき』な人物紹介カード」を配付する。

◆ **分かったこと、できたことを問う。**  
【働き掛け5】

- ※ 振り返りシートを配付する。

- 読み手、聞き手の役割を交替しながら、音読練習を行う。
- 生活班の中で、話し手、聞き手の役割を交替しながら、紹介の練習を行う。
- 「お話のとびら」を使い、「お手紙」を紹介したり、読み聞かせたりする。

- ◆ 2人一組で音読練習をする場を設定する。
- ◆ 紹介の練習をする場を設定する。
- ◆ 1年生との交流の場を設定する。